

SV-23D

807 STEREO POWER AMPLIFIERキット
組立マニュアルVer.2.0

回路形式：五極管ドライブ+

ビーム出力管カソードNFBシングル

使用真空管：電力増幅 807(2)

電圧増幅 EF37A/CV358(2) 整流 5AR4(1)

最大出力：7W+7W (THD10%,1KHz)

周波数特性 (1W)：20Hz～70KHz (-3dB)

利得/入力感度 (1KHz)：27dB±2dB/350mV

残留雑音：1mV以下

入力/インピーダンス：1系統 (RCA) /100KΩ

適合スピーカインピーダンス：8Ω *配線替えて4Ω/16Ωも可

消費電力：90W

サイズ (mm)：W258×D251×H201 (突起含む)

重量：8.5kg



ボンネットは必ず取り付けて御使用下さい。

株式会社サンバレー

<http://www.kit-ya.jp/>

〒488-0844 愛知県刈谷市広小路4-201

全般的なお問い合わせ 担当：大橋

技術的、およびパーツに関するお問い合わせ 担当：佐藤

Tel.0566-54-2776 Fax.0566-54-2721

e-mail : technical@sunvalley-e.co.jp

©SUNVALLEY 2010.11.30

SV-23D 組立マニュアル 1 / 17

SV-23D 部品配置図

部品の配置図です。

各部品は次ページからの順で取り付けてください。

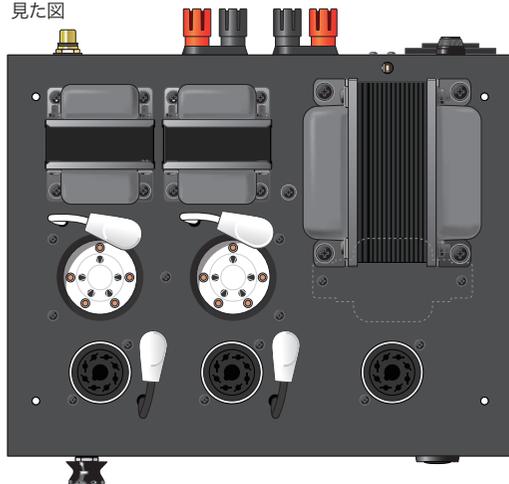
ここでは真空管ソケット、ラグ板の位置と方向を確認してください。

トランスは引き出し線の色で位置と方向を確認してください。

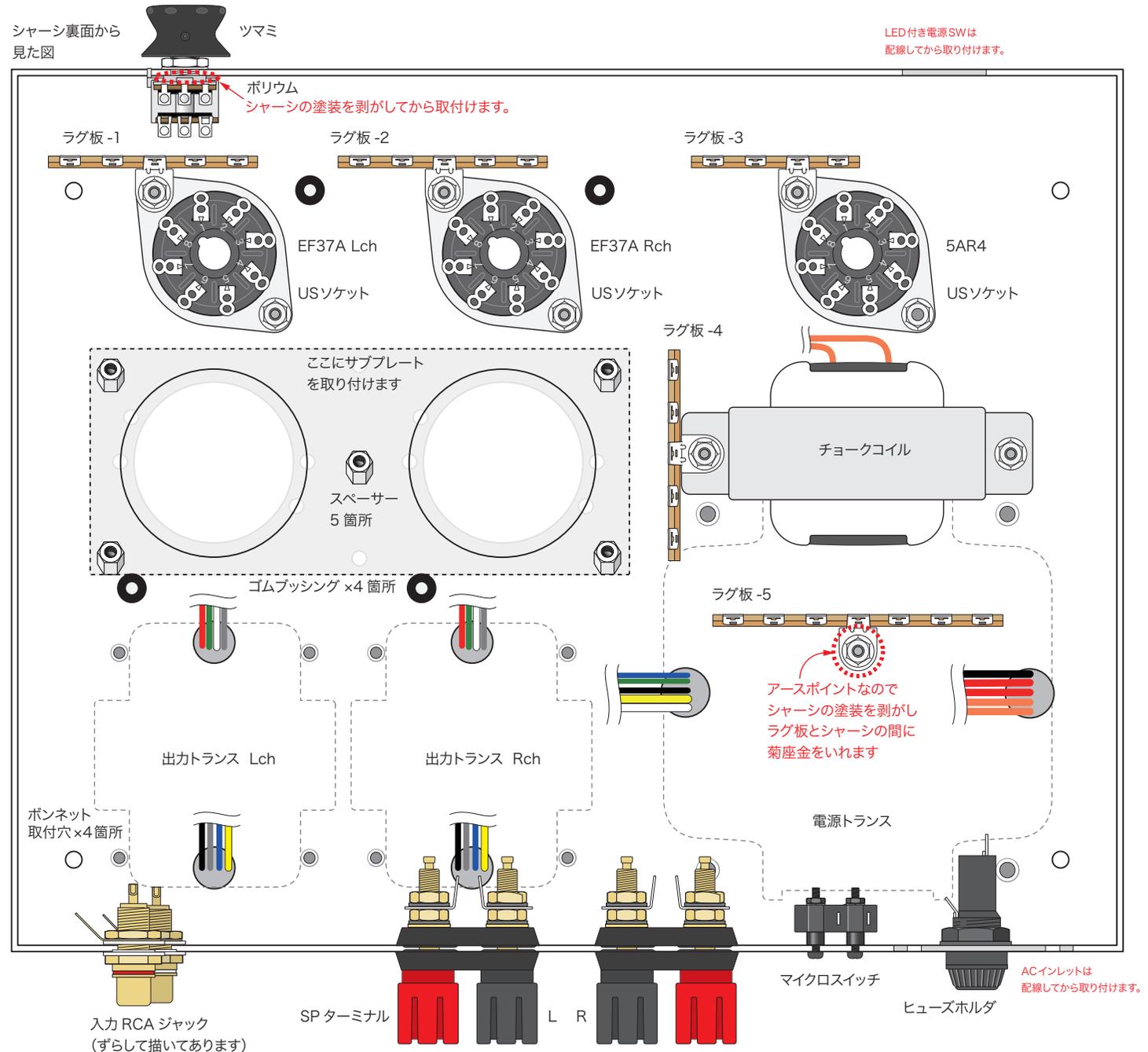
※ 電源スイッチ、ACインレットは配線をしてから取り付けますから注意してください。

※ サブプレートも組み立ててからスペーサに取り付けます。

シャーシ上面から見た図



シャーシ裏面から見た図



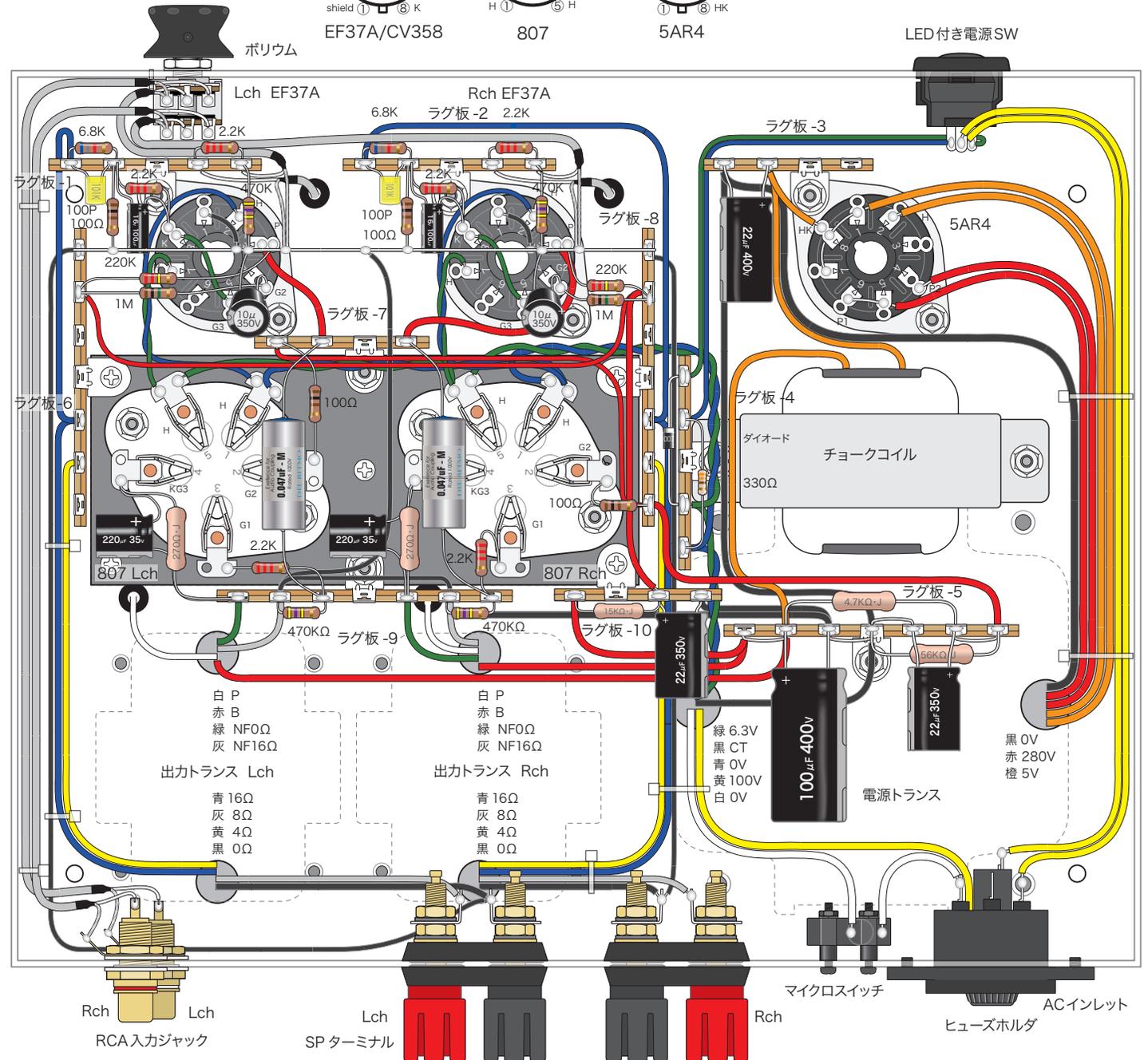
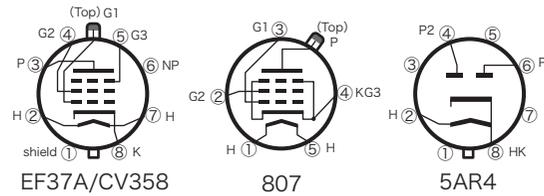
SV-23D 配線終了

○ 組み立てと配線が終わっても、すぐに電源を入れないでください。まず掃除をしましょう。

○ 点検は一休みしてから行うようにしてください。最初からマニュアルを読み直し、配線を今一度点検してみましょう。作業終了後すぐに点検すると思ひこみもあり、間違いが発見できない可能性が多いものです。

○ 電源を入れる前に配線のはんだ付け状態を必ず確認してください。組み立て後「音が出ない」と持込まれたキットの約70%ははんだ不良、配線ミス、配線忘れによるものです。はんだ付けは、懐中電灯やルーペを用いて確実になされているかをチェックしてください。

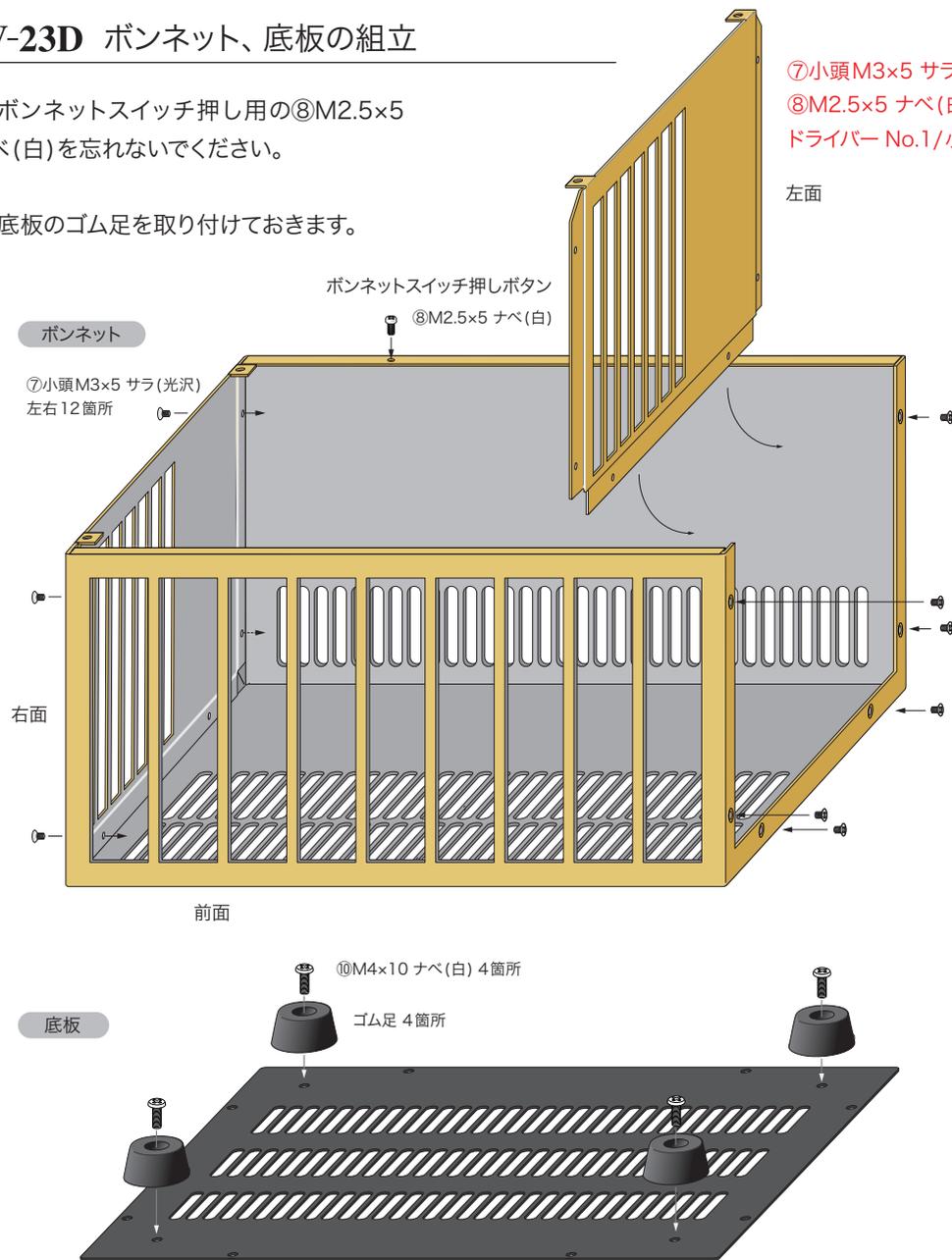
○ 適宜インシュロックで配線をまとめます。



SV-23D ボンネット、底板の組立

○ ボンネットスイッチ押し用の⑧M2.5×5 ナベ(白)を忘れないでください。

○ 底板のゴム足を取り付けておきます。



⑦小頭M3×5 サラ(光沢)
⑧M2.5×5 ナベ(白)は
ドライバー No.1/小を使用します。

検査が終わり最後に底板を本体シャーシに取り付けて完成です。



※ シャーシをボンネットにのせて
ボンネットスイッチを押さないと電源が入りません。

電圧測定が終わったらボンネットを取り付けます。

ボンネットは必ず取り付けて御使用下さい。

